

備南工業

福祉・健康向け本格参入

相次ぎ新容器 成長分野に照準

飲料・食品向けプラスチック容器製造などの備南工業(広島県福山市、小坂章則社長)は医療・福祉と健康業界向けに本格参入する。飲みやすさや持ちやすさを追求した新容器を相次ぎ開発、十二月から健康食品販売業者や食品メーカーに納入を始める。主力のジュース・アイス向けが少子化の影響で伸び悩んでいるため、成長が見込める新分野を開拓する。



備南工業が開発した栄養剤用容器(右の2つ)と豆乳用容器(左の2つ)

医療・福祉向けはゼリー状の栄養剤専用の容器を開発した。スティック型氷アイス向け容器を改良し、上部の細い部分を折るだけで病院の患者や在宅の要介護者でも簡単に飲むことができる。下部も凹凸を付けて握りやすくし、つかんで上部を折りやすくするための出っ張りも設けた。

十二月から中国地方の健康食品製造・販売会社に納品が決定した。夏場に需要が集中するジュース・アイス向け容器を補う通年型商品と位置づけ、毎月四十万―五十万本を製造する計画。「納入単価がジュース・アイス向けに比べ五〇％程度高いのも魅力」(同社)という。

健康食品市場に向けては、人気が高まっている豆乳用容器を開発した。通常の飲料用アルミ缶と同様の形状で、缶のように取っ手を引き抜いて開けられる。取っ手はジュースなどの缶よりも大き

く、高齢者なども扱いやすい。中身も底に設けた穴から簡単に充てんでき

る。十二月から大手飲料メーカーに納入を開始。耐熱性の関係でお茶・コーヒーなど高温飲料は入れられないため、紙パック以上の機能性を武器に、付加価値が高い健康飲料

向けとして別のメーカーにも売り込む。備南工業は飲料・アイスのほか、豆腐などのプラスチック容器と、それらの充てん機製造の大手。飲料・食品充てん機では全国シェア一位を占める。同社は「ジュース・アイスの需要が落ち込む夏場以外は新分野で全

体の一〇―二〇%を売り上げたい」(見玉匡量専務)としている。

備南工業は飲料・アイスのほか、豆腐などのプラスチック容器と、それらの充てん機製造の大手。飲料・食品充てん機では全国シェア一位を占める。同社は「ジュース・アイスの需要が落ち込む夏場以外は新分野で全